

社会貢献活動

独自のノウハウや経営資源を活かして、広く社会に対する責任を果たしていきます。

社会貢献活動の方針

企業の持続的成長は、地球社会の持続的発展があって始めて成り立つものです。カシオは『創造 貢献』の経営理念に基づき、コア・コンピタンスである「小型・軽量・薄型・省電力」に代表される独自のノウハウや経営資源を活かして、カシオらしい社会貢献を果たしていきたいと考えています。

また、社会貢献の重点分野として、かけがえのない地球資源と環境を守るための「環境保全」、今後の世界を担う次世代に対する責任を果たすための「教育」、人々への喜びと感動の提供としての「文化・芸術」、社会の発展に不可欠な最先端科学技術の開発に寄与する「学術・研究」、さらに地域社会を構成している一員としての「地域社会活動」の5分野に注力していきます。

また、『カシオ創造憲章・行動指針』に基づき、よき企業市民として、あらゆるステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、社会に対する自主的な責任を設定し、遂行することで信頼いただける企業をめざします。

社会貢献活動の推進体制

カシオの社会貢献活動は、各部門において各社および各事業拠点の特性を配慮した個別テーマの推進を行い、共通テーマの推進や全体的な管理、寄付・支援の相談窓口は、2004年4月に発足したCSR推進室が担っています。また、カシオの社会貢献活動の方針・計画・予算については、CSR委員会によって審議されます。2004年度は、海外を含む各拠点の活動調査による現状把握と

もに、今後の活動方針を策定しました。

今後の活動としては、社会貢献の重点5分野のなかでも、環境保全と次世代を担う子供たちとの関わりを特に重視していきます。また、定期的な社会貢献活動の情報収集と情報交換により、各拠点での活動のレベル合わせと活動の促進を図ります。

地域社会への貢献

■ 一万人の工場見学

2004年2月からスタートした「一万人の工場見学」は、カシオの工場の見学を通じて、子供たちに“生きる力”を提供することをコンセプトとしています。

お父さん、お母さんが働く姿を目にすることで、家族の絆に気づく。生産ラインを見たり、製品の簡単な組立を行うことで、商品の機能を理解し、科学の素晴らしさに目覚める。そして、社員の熱き語らいを通じて、諦めないで一生懸命努力することにより、夢が必ず実現できることに気づく。さらに、カシオの環境活動に触れることで、地球環境を大切にする心を育む。カシオはこうした“気づき”の機会を提供することで、将来の社会を担う人材の育成に寄与したいと考えています。

2004年度は、甲府カシオを主体に5校を受け入れ、各市町村の教育委員長を含めて約140名の見学者数をお迎えしました。2005年度は、生産拠点の協力を得ながら、全国からのお申し込みを受けるなど、さらに活動を拡大していきます。



工場見学風景

■ 「Kids ISO」活動への参画

「Kids ISO」は、NPO法人国際芸術技術協力機構（アーテック）が2000年に開発した子供向けの環境教育プログラムで、国連機関やISOとの連携のもと、世界各地で展開されています。一人ひとりの“気づき”を引き出し、地球環境への貢献を通じて、「生きてゆく力」を身につけながら、未来へ希望と確信をもてる教育をめざすものです。日本では県・市町村レベルで実施されているほか、企業としての取り組みも増えており、全国で300校以上、約7万人の子供たちが参加しています。

カシオは「Kids ISO」の活動に共感し、2004年度より、工場見学などの機会を利用して、この「Kids ISO」を各小学校に紹介。インストラクターの資格を取得した要員が、ISOの理念に基づき、子供たちに対する環境活動の指導に取り組んでいます。地域からは大変なご評価をいただいております。2005年度からは生産拠点の理解を得ながら活動を全国へと展開していきます。また、東京都では、環境教育および家庭における温暖化対策の一環として、「Kids ISOプログラム」を都内の小学校に普及する取り組みを始めました。2005年度は、対象を小学5～6年生とし、都内で150校（約10,000人分）の参加をめざしています。カシオはこの活動に共感し、協賛企業として参画を決定しています。



「Kids ISO」